

支部だより

みなと支部設立総会

6名の世話人でスタート

みなと支部



9月21日(土)午後2時 30分から老松診療所5階会議室で開催しました。司会は支部世話人の亀田さんが行い、同仁会代表のあいさつが前田組織部長からあり、新病院の建設の経過報告や支部分割する中で医療・安心して住み続けられる街づくりに役割を果たしたと激励されました。

活動方針については支部世話人の小野さんが支部設立の経過と①支部、班、仲間ふやし②健康づくりの活動③被災地支援?原発をなくす取り組み④みみはら協同基金の取り組み⑤無料・低額診療と命を守る助け合い募金⑥楽しい交流行事等を報告、提案しました。質疑応答・討議をへて全員で議案を確認しました。新しく6名の世話人が選出され第1回世話人会で支部長に桑原さんが選ばれました。

総会後、吉岡先生から「足腰の痛みの原因と予防」というテーマで講演があり、参加者から今後医療学習会や友の会の取り組みを行って欲しいと要望がありました。

亀田 孝則

大仙西支部結成

地域の街づくり話しあう

大仙西支部



80名の参加者で高砂クリニック2階フロアは満席に

10月19日(土)午後3時から高砂クリニック2階において、大仙西支部結成総会と「地域・健康・街づくり」シンポジウムを80名の参加で開催しました。

大仙西支部結成に至る経過報告と「健康で安心して住み続けられる地域」

されました。支部長に選出された山本すえのさんより「友の会があつて良かったな」と思ってもらえる活動をみなさんとともに進めたい」と総会を締めくくりました。総会には同仁会より穴井専務、友の会より前田事務局長から挨拶をいただきました。

引き続き開催されたシンポジウムは、立命館大学のリム・ボン教授、高砂クリニック緒方洋所長、支部世話人で全解連相談役の富山清二さんにシンポジストとして、それぞれの立場から報告していただきました。参加者からも質問・発言があり、地域の運動により病院が発展し発展してきたこと、また病院として地域の健康づくりに果たしている役割などを確認する集会となりました。

「健康・平和まつり」(12月1日)にぜひご参加を

同仁会・健康友の会みみはら、堺医療生協、北野田医療生協、阪南医療生協、羽曳野医療生協、泉州保健医薬研究所が協力して、12月1日(日)に「健康・平和まつり」を、サンスクエア堺一帯をお借りして開催します。このまつりは、「大阪民医連南ブロックはひとつ」のエネルギーを内外に示す場として、また耳原総合病院の建設をみんなで成功させる一環として企画されました。みなさんの積極的な参加・協力をよろしくお願ひします。なお、「健康・平和まつり」の参加協力券は500円となっています。チケットをお求めの会員さんは同仁会・泉州保健医薬研究所の事業所、友の会の各支部にありますので、ぜひご購入ください。

地域健康まつり 1500人で盛り上がる



たかのよつな気温30度を超える真夏日となりました。すでに模範店(23店舗)には人盛りができ、舞台上では、登美丘高校の素晴らしい演奏がはじまり、芝生広場では、パシフィック競争や玉入れ等のミニ運動会に歓喜が沸きました。

午後からは職員のバンド演奏やフラダンスで会場を盛り上げてくれました。地域友の会から虚無僧に扮したの、尺八演奏、に花笠

10月6日(日)午前10時 大阪府立登美丘高校吹奏楽部のファンファーレの合図で、第14回地域健康まつりがはじまりました。まず

主催者を代表し耳原総合病院 院奥村病院院長、続いて大仙西自治連合会鴻上会長の開会挨拶がありました。この日は、季節が逆行し

この日は、季節が逆行し

事務局長 北出

保健学校

健康寿命の考え方を学ぶ



今回は6名の方が全過程修了

「健康づくり委員会」主催の第5期「保健学校」が9月18日(水)・10月1日(火)・10月15日(火)の3回シリーズで開催されました。今回は「健康寿命」の考え方を学

びました。第1課は、内科の緒方浩美医師から「健康寿命を考える」というテーマで、最新の研究内容から江戸時代83才まで生きた、貝原益軒の「養生訓」など多岐にわたる内容の話に参加者から「出来るだけ健康で自立して生活する人生に近づきたい」「健康寿命について基本的な事をわかりやすく教えていただいた」「健康寿命をいかにして延ばすか楽しみながら生きることが大切だと思います」など感想が出されました。第2課は、古田管理栄養士から5大栄養素をバランスよく摂る大切さを教えてもらいました。その後2班に分かれて、「6つの食品グループ表」を参考にしながら食品カードをつかって仕分けしました。「カレーライスはどこに入る?」「お味噌汁は?」などワイワイと楽しく学びました。